

- ・本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2016年3月期 決算説明会資料

取締役社長
新芝 宏之

2016年5月10日

岡三証券グループ

目次

1 中期経営計画と進捗

- ・ 中期経営計画「お客さま大事」 ……P 4
- ・ 中期経営計画の進捗状況 ……P 5
- ・ 収益構造の変化(岡三証券 2000年3月期比) ……P 6
- ・ 販管費カバー率の推移 ……P 7
- ・ 当期のトピックス紹介 ……P 8

2 グループ経営戦略

- ・ マーケット環境 ……P 10
- ・ 対面ビジネスと3つのサブエンジン ……P 11
- ・ 投資アドバイスのプロフェッショナル集団として ……P 12
- ・ アライアンスによるグループ拡大 ……P 13

- ・ アセットマネジメントビジネス戦略 ……P 14
- ・ オンラインビジネスでの顧客創造 ……P 15
- ・ IR強化、株主還元 ……P 16

3 創業95周年、100周年に向けて

- ・ 事業基盤確立のための取り組み ……P 18
- ・ 中期経営計画最終年度～将来構想への布石 ……P 19
- ・ 総括 ……P 20

ハイライト

1

中期経営計画と進捗

2

グループ経営戦略

3

創業95周年、100周年に向けて

1. 中期経営計画と進捗

中期経営計画「お客さま大事」

- 私どもが創業以来守ってきた「お客さま大事」の経営哲学は不変
- お客さまのさまざまなニーズに応え、お客さまの利益になることが何より大切
- 働くことに「誇り」を持った人材が集まるプロフェッショナル集団を目指す

■対象期間

2014年（平成26年）4月から2017年（平成29年）3月までの3年間

■経営哲学

お客さま大事

■経営目標

定性目標

- (1) 投資アドバイスのプロフェッショナル集団を目指す
- (2) 働きがいがあり、より一層大きな「誇り」を持てる企業とする
- (3) 上記(1)、(2)の結果として企業価値を高め、上場企業としての責務を果たす

定量目標

- (1) 連結純資産 2,000 億円（最終年度）
- (2) 連結ROE 10%（安定的な達成）

<創業100周年までの目標>

グループ預り資産 10兆円
グループ口座数 100万口座

2023年4月
(創業100周年)

2014-2017
新・中期経営計画

1. 中期経営計画と進捗

中期経営計画の進捗状況

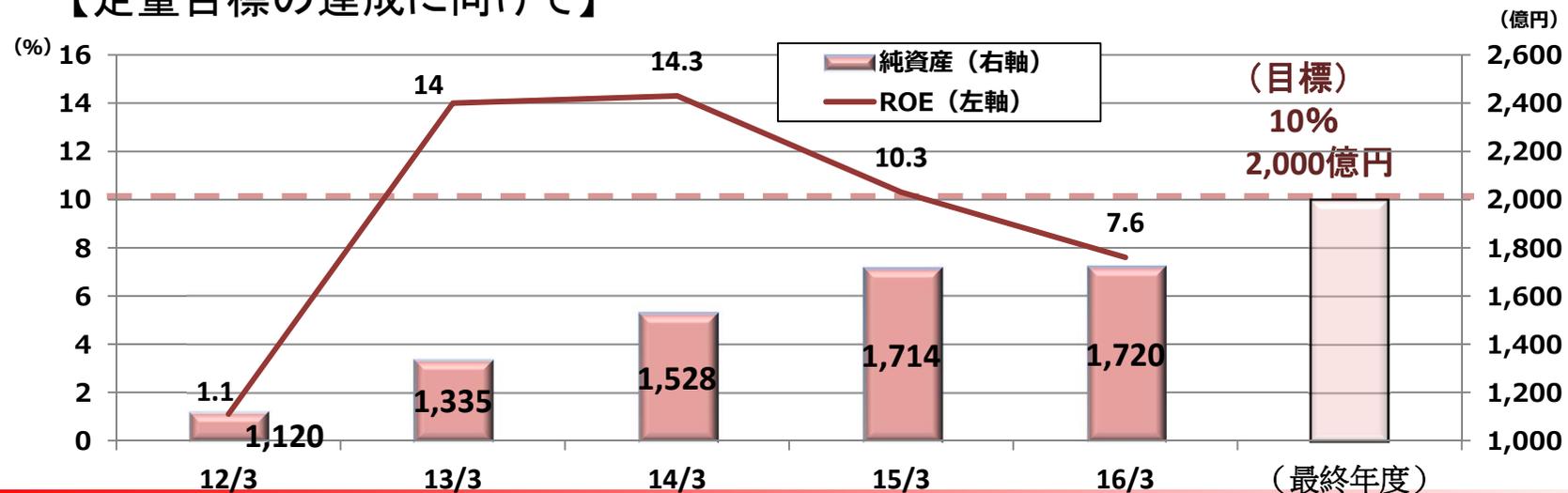
- 投資アドバイスのプロフェッショナル集団の確立に向けた施策を推進
- 2016年3月期末の連結純資産は1,720億円(2014年3月末(計画スタート時)比+192億円)
- 連結ROEは10%を長期安定的な目標として継続

【定性目標の達成に向けて】

投資アドバイスのプロフェッショナル集団の確立、社員の働きがい向上のための施策を推進

- ・ 投資情報力の強化
- ・ 実践的な知識・スキルを高めるための研修強化、リーダー人材の養成
- ・ 業績評価制度の見直し、多様な働き方や女性活躍を後押しする制度整備

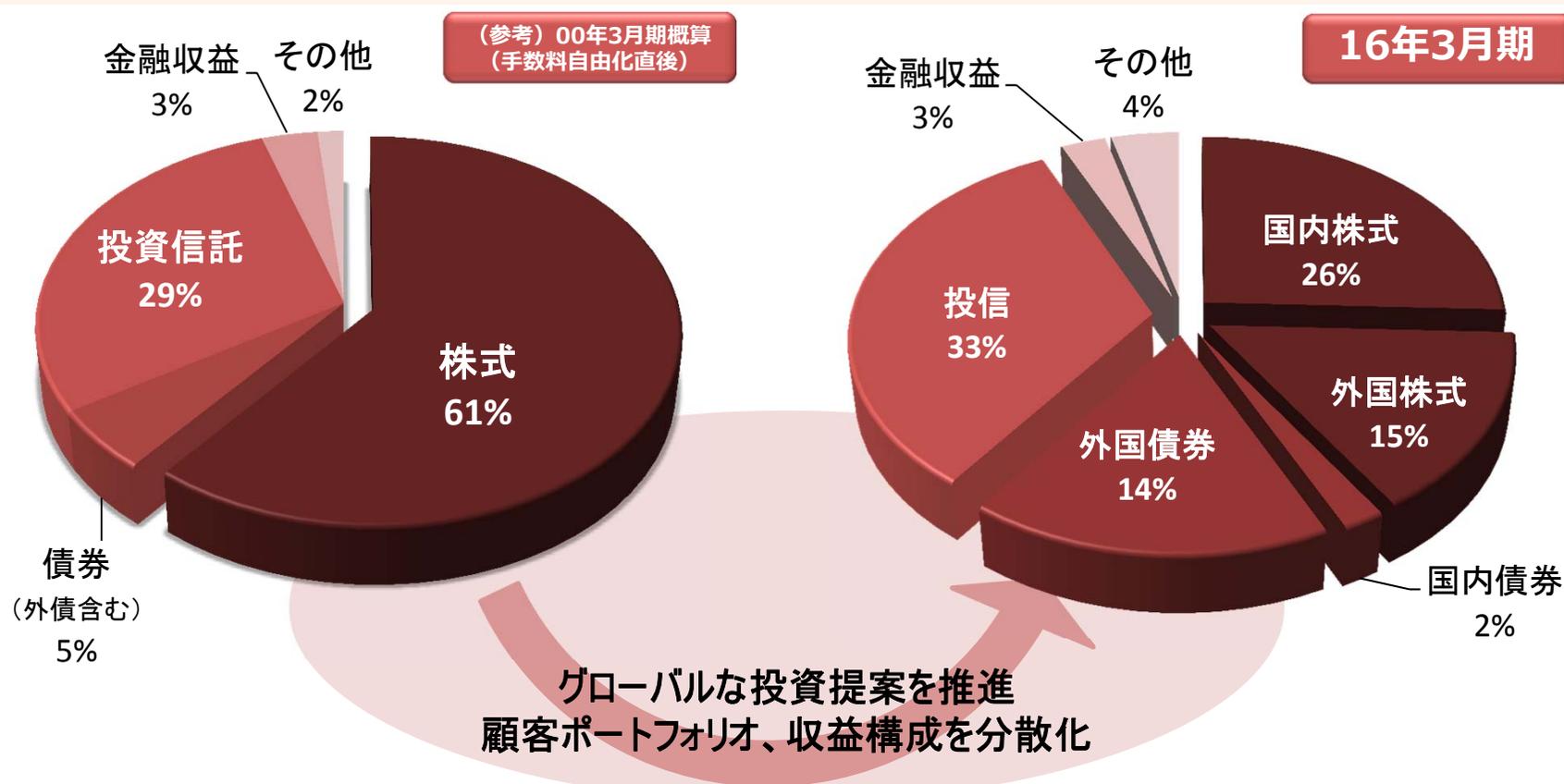
【定量目標の達成に向けて】



1. 中期経営計画と進捗

収益構造の変化(岡三証券 2000年3月期比)

- グローバルな投資提案を推進し、投信、外国株式・債券が増加
- 国内株式への依存度は2割～3割程度に
- 顧客ポートフォリオと収益構成が多様化、分散化

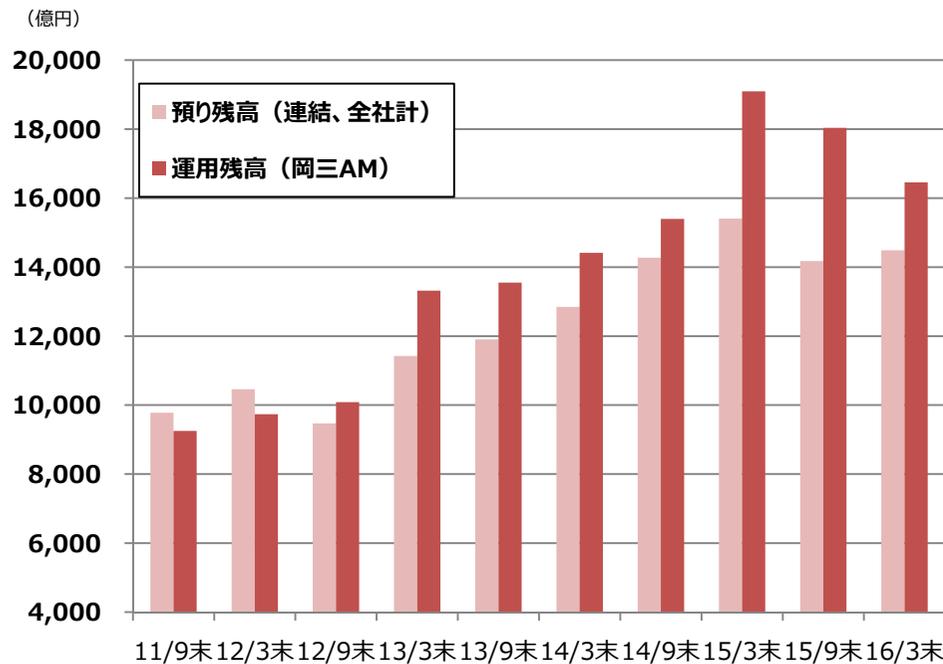


1. 中期経営計画と進捗

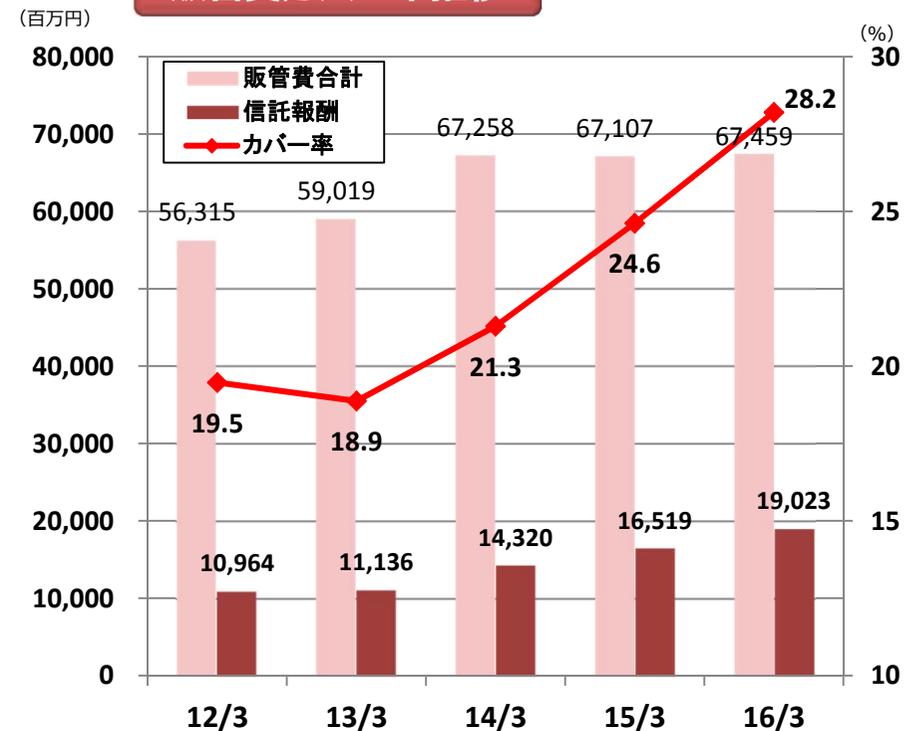
販管費カバー率の推移

- 岡三アセットマネジメントの投信運用残高は2016年3月末で1兆6,456億円
- 各証券子会社においても残高フィービジネスを拡大中
- 販管費カバー率は28.2%。さらに引き上げへ

投資信託残高推移



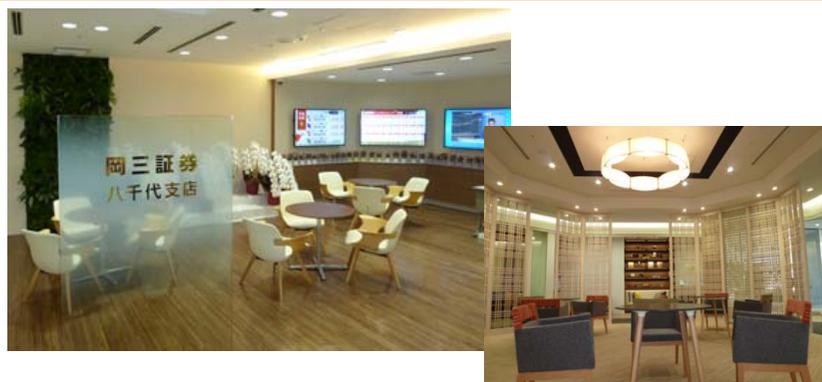
販管費カバー率推移



当期のトピックス紹介

岡三証券 新店舗開設、リニューアル

2015.07 「八千代支店」を新規開設
その他、既存4店舗をリニューアル



ガバナンス強化

2015.06 監査等委員会設置会社へ移行
2015.12 コーポレートガバナンス・ガイドラインを制定

日本郵政グループ IPO

2015.11 日本郵政グループIPOで岡三証券が
上場主幹事(国内特定区分)

岡三アセットマネジメント アワード受賞

2016.01 「Morningstar Award「Fund of the
Year 2015」」 優秀ファンド賞
(国内株式中小型部門)
2016.03 「リッパー・ファンド・アワード・ジャ
パン2016」 最優秀ファンド賞
(計3ファンド)



ハイライト

1

中期経営計画と進捗

2

グループ経営戦略

3

創業95周年、100周年に向けて

マーケット環境 ～不確実性の先にあるもの～

1. リーマンショック以降の歩み

FRBの7年間にわたる金融政策の本質は何か

- ・ 超金融緩和(=新たなバブル)という対症療法

2. 金融危機のリスクはまだ過ぎ去っていない

2008年リーマンショックの既視感

- ・ シェール関連企業のデフォルト懸念
- ・ 金融政策の限界

3. 悲観の次に来る反発に備える

超悲観シナリオを織り込んだ後の反発は大きい

2. グループ経営戦略

対面ビジネスと3つのサブエンジン

- 金融市場変動要因の複雑化、金融商品の多様化など ⇒ 資産運用のパートナー選びが重要に
- 強固な対面ビジネス基盤こそが、グループのメインエンジン。
- サブエンジンの相乗効果により、グループ拡大、ブランド浸透、顧客創造を推進する。



2. グループ経営戦略

投資アドバイスのプロフェッショナル集団として



- 中期経営計画における定性目標事項
- リテール金融マーケットは成長市場。ただし求められるのはプロフェッショナル。
- 営業の質的強化により、最高の資産運用サービスを提供していく。

① 投資情報力

- ・ 顧客利益につながる投資情報の提供
- ・ 市場環境変化への追随力強化 など

② プロフェッショナル人材の養成・強化

- ・ 真のプロフェッショナル人材養成のための研修教育強化
- ・ 即戦力採用

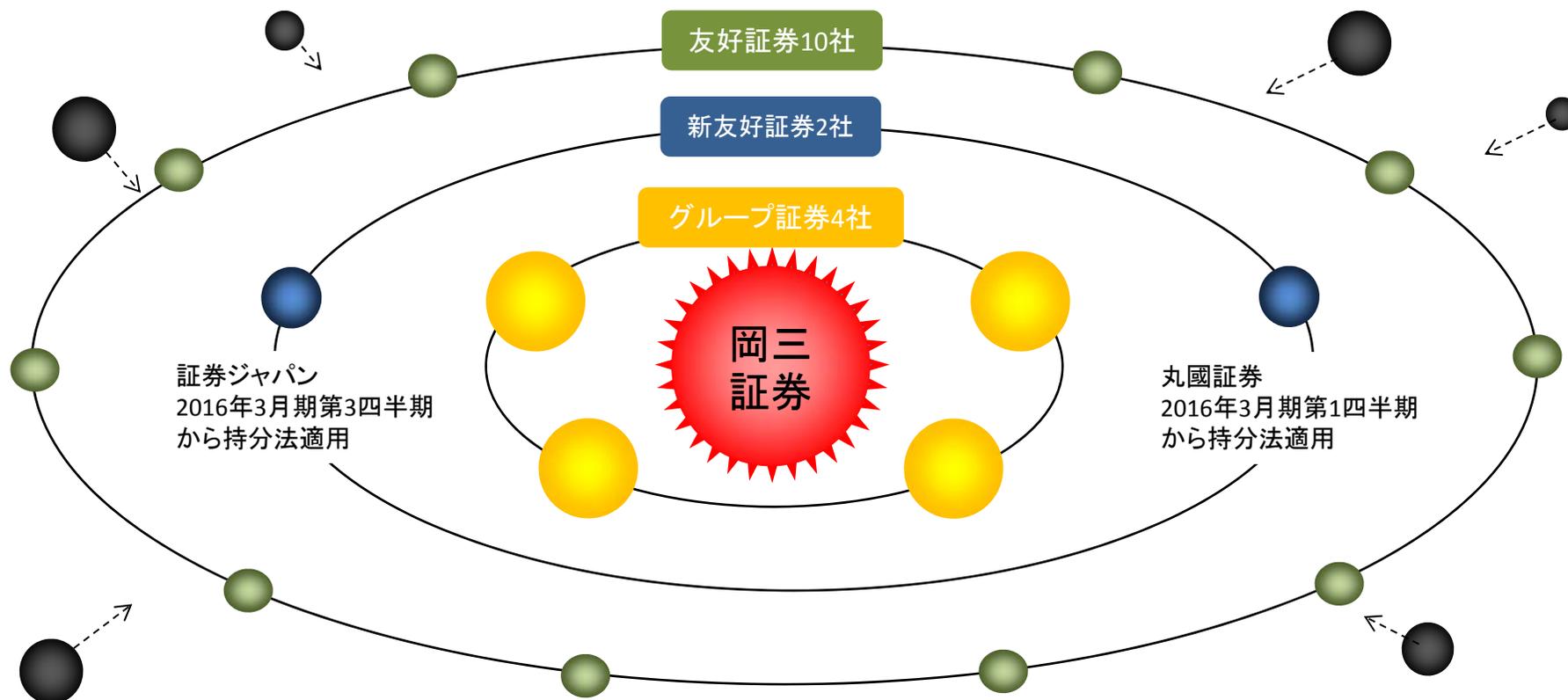
③ 営業の質的強化

- ・ 基盤拡大のための営業強化
- ・ 顧客利益追求の結果としての事業基盤拡充

2. グループ経営戦略

アライアンスによるグループ拡大

- 証券ジャパン、丸國証券を持分法適用会社化
- 岡三証券を核とした岡三ブランドをさらに強化し、求心力を高める
- 今後も業務提携、資本提携を推進し、独自の証券会社ネットワークを拡大する

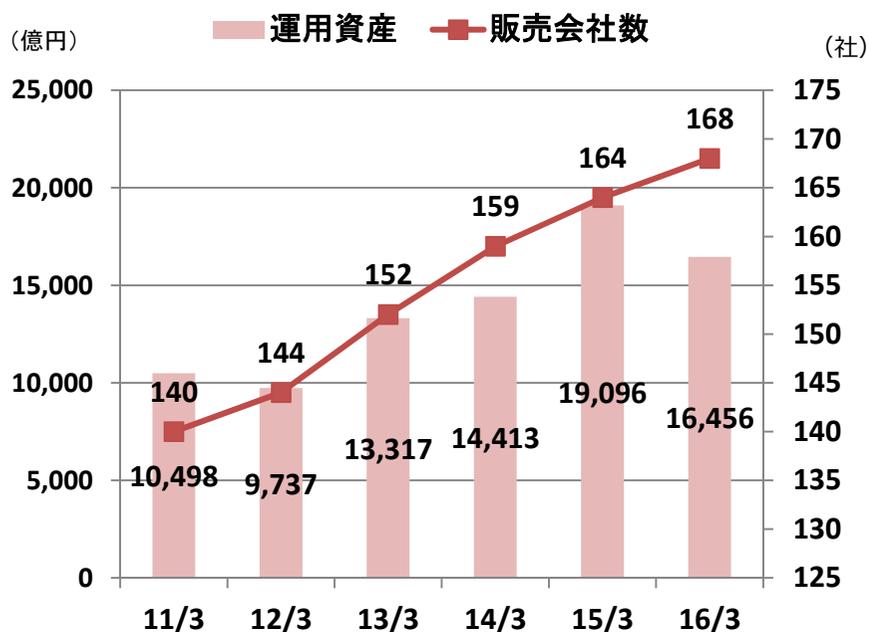


2. グループ経営方針

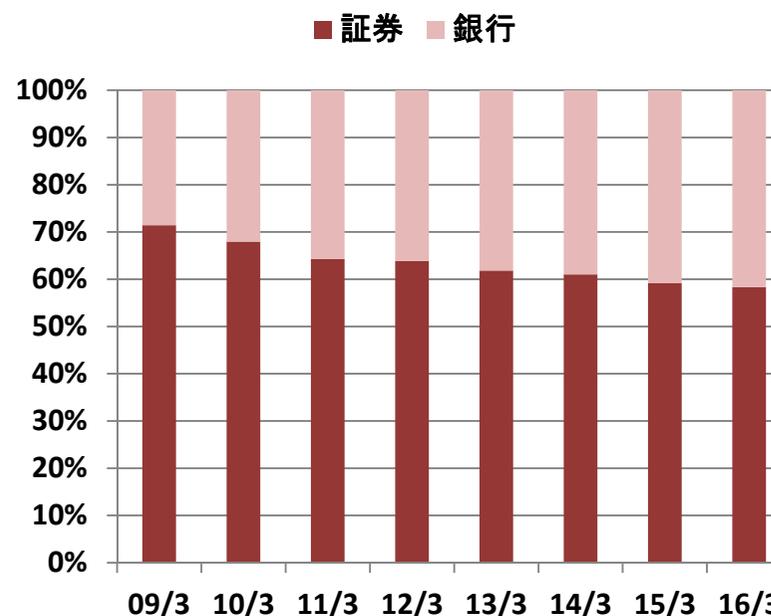
アセットマネジメントビジネス戦略

- 確定拠出年金は一層の拡大が予想される。資産運用ビジネスは成長産業。
- 銀行窓販も定着しつつあり、岡三アセットマネジメントの販売会社168社のうち、70社が銀行
- グループ外の販売会社網を拡大中。運用残高の半分は岡三証券以外。岡三ブランド浸透へ。

運用資産と販売会社数の推移



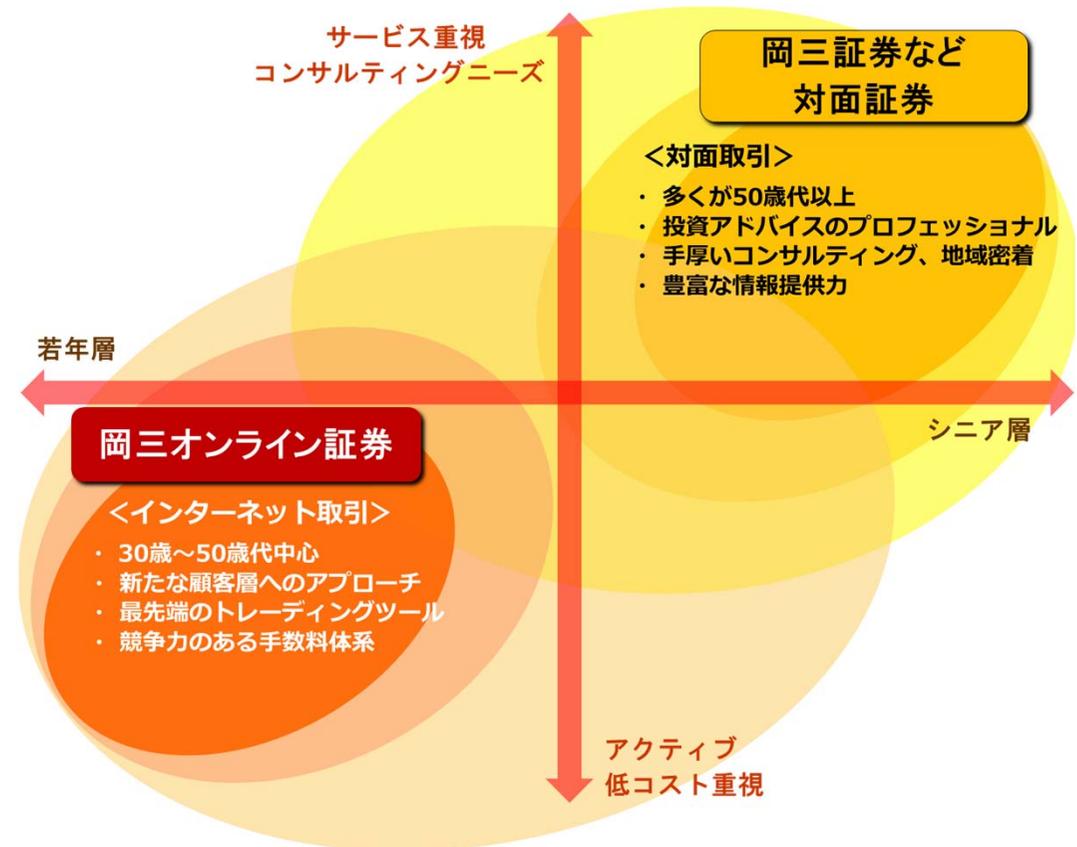
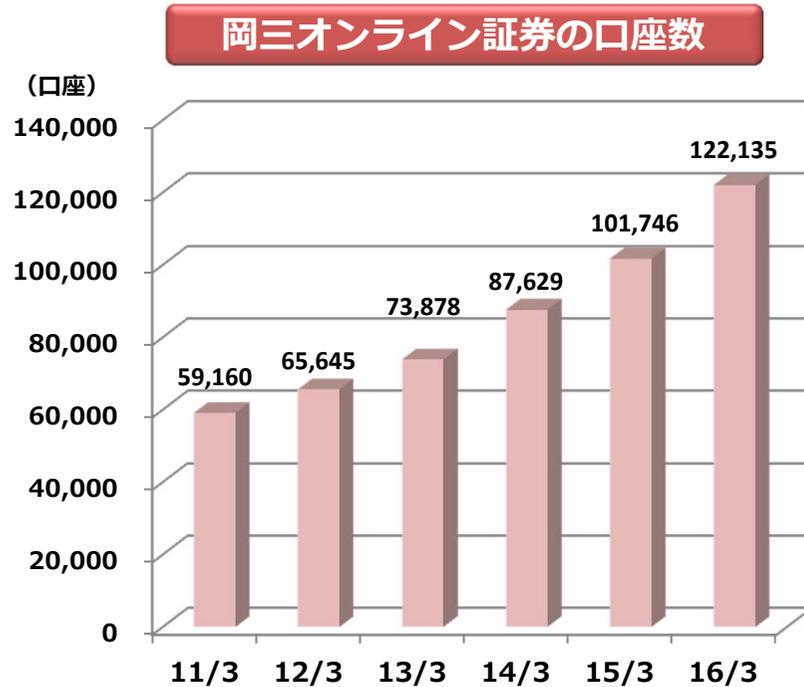
販売会社の構成比



2. グループ経営戦略

オンラインビジネスでの顧客創造

- 対面チャネルと異なる潜在顧客層へのアプローチ
- オンラインチャネルにおける岡三ブランド浸透の最前線
- 先進的なツール、最新のネットビジネス戦略の知見をグループ内へフィードバック

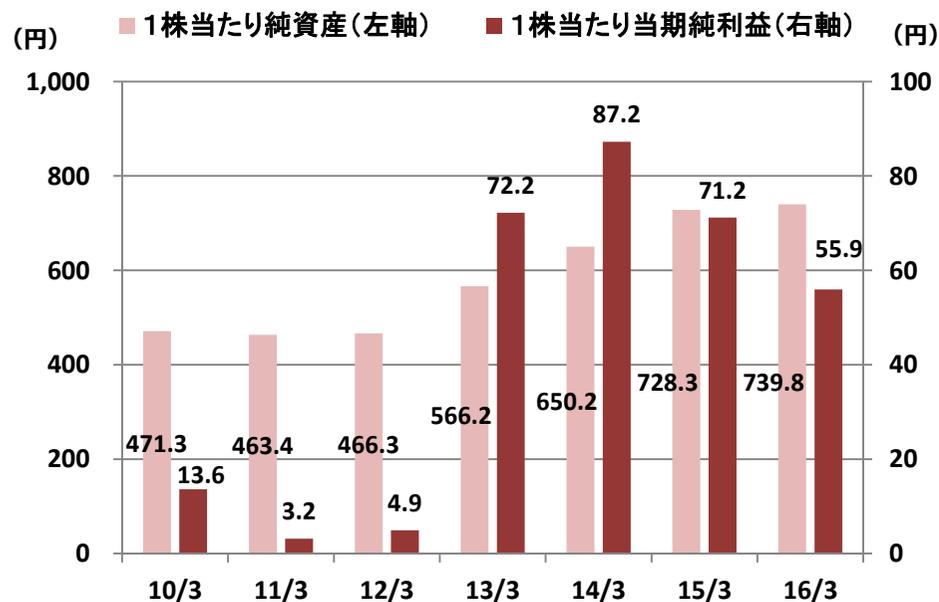


2. グループ経営戦略

IR強化、株主還元

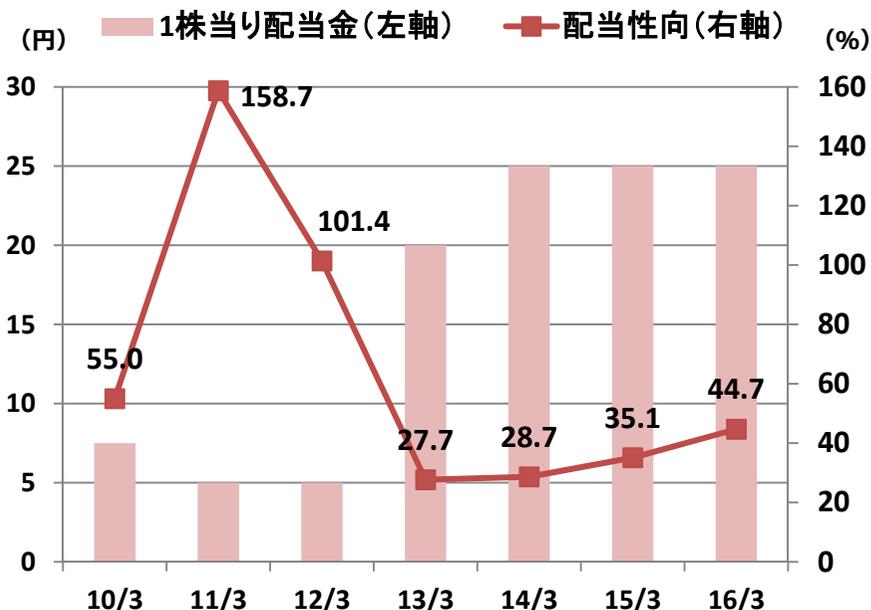
- IR情報の積極発信、イベント出展など
- 株主満足度を意識した還元
- 資本充実とROEのバランスを考慮

1株当たり利益および純資産の推移



いずれも連結ベース。数値は小数第2位以下を四捨五入。

配当金および配当性向の推移



配当性向は連結ベース

ハイライト

1

中期経営計画と進捗

2

グループ経営戦略

3

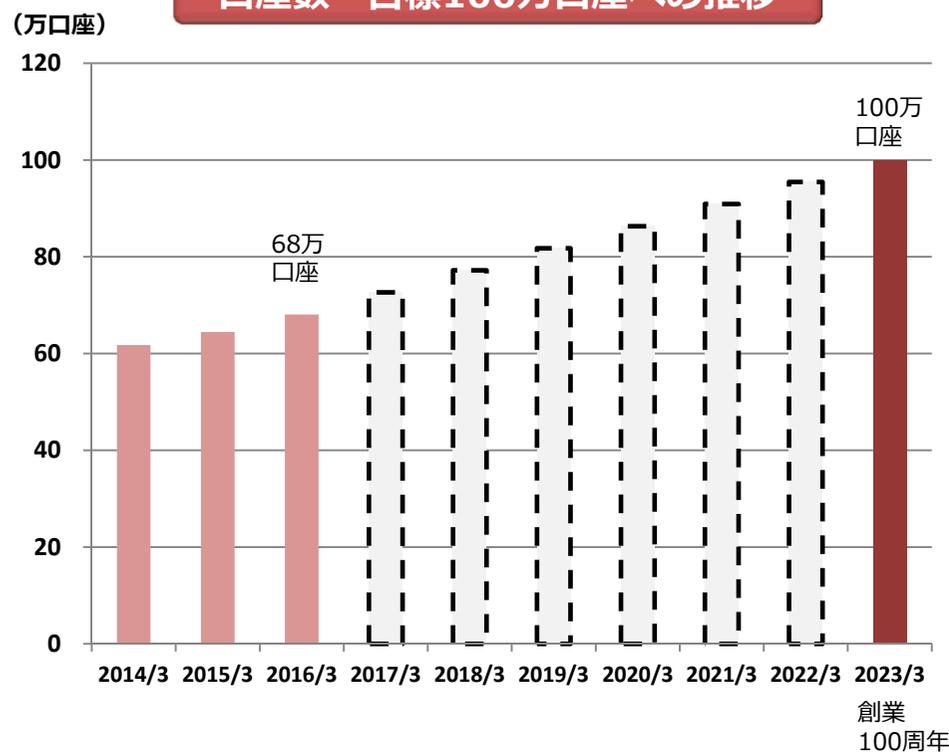
創業95周年、100周年に向けて

3. 創業95周年・100周年に向けて

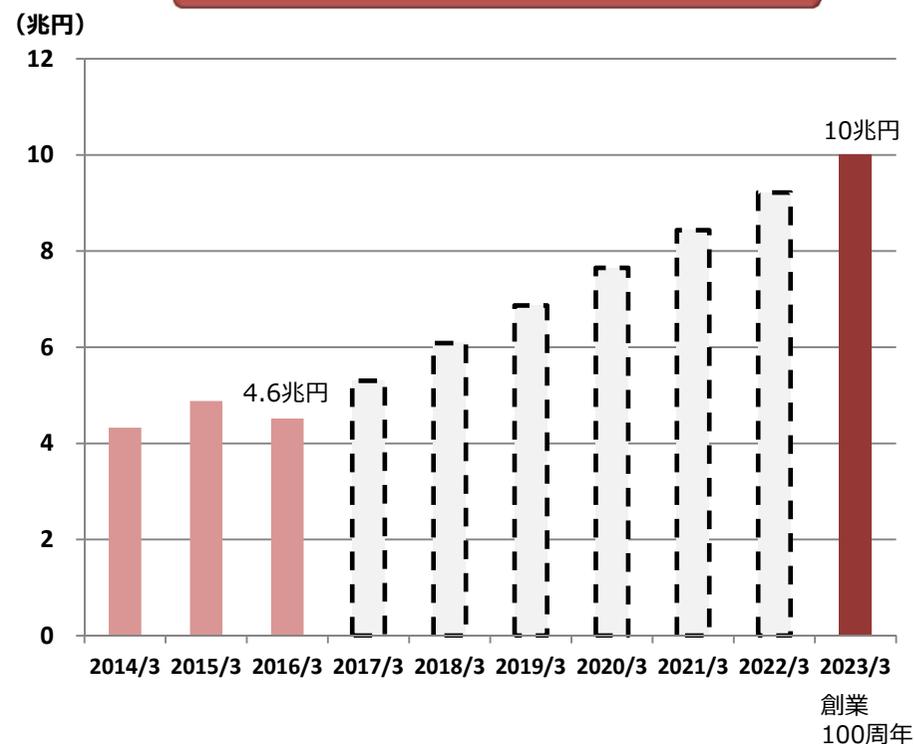
事業基盤確立のための取り組み

創業100周年を迎えるにあたり、安定した事業基盤を確立するため、
中長期目標として、グループ全体で「口座数100万口座」、「預り資産10兆円」

口座数 目標100万口座への推移



預り資産 目標10兆円への推移



中期経営計画最終年度～将来構想への布石

中期経営計画は最終年度へ
将来構想への布石の年

1. 中長期のグランド・デザインを策定
⇒ 1年かけて新・中期経営計画を策定
2. アライアンスの強化・推進
⇒ 独自の証券会社ネットワークを強化
3. システム戦略の強化
⇒ グループ力を活かしたシステム戦略

3. 創業95周年・100周年に向けて

総括



<p>中期経営計画 2014年4月～2017年3月</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 経営哲学 「お客さま大事」2. 定性目標<ol style="list-style-type: none">(1) 投資アドバイスのプロフェッショナル集団を目指す(2) 働きがいがあり、より一層大きな「誇り」を持てる企業とする(3) 上記(1)、(2)の結果として企業価値を高め、上場企業としての責務を果たす3. 定量目標<ol style="list-style-type: none">(1) 連結純資産 2,000 億円(最終年度)(2) 連結ROE 10 % (安定的な達成)
<p>グループ経営戦略</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 対面ビジネスと3つのサブエンジン<ol style="list-style-type: none">(1) 強固な対面ビジネス基盤がグループのメインエンジン ⇒ 投資アドバイスのプロフェッショナル集団としての態勢確立へ(2) アライアンスによるグループ拡大と「岡三」ブランド浸透(3) アセットマネジメントビジネス ⇒ 資産運用は成長ビジネス。外販はさらに拡大へ。(4) オンラインビジネスによる顧客創造2. 株主還元 株主満足度アップ、資本充実とROEのバランス3. 100周年に向けた事業基盤の拡大<ol style="list-style-type: none">(1) グループ口座数100万口座へのアプローチ(2) グループ預り資産10兆円を目指す

問合せ先：株式会社岡三証券グループ
グループ広報部

住 所：〒103-0022
東京都中央区日本橋室町2-2-1

T E L：03-3275-8248（広報直通）

U R L：http://www.okasan.jp